

# GAコントローラー 入力チェック

## 入力チェック表示一覧

センサーやスイッチ類で現在作動中の器機の状態を7セグ表示部に表示します。使用していない機器がONの状態の場合はコントローラー内部の短絡線等が外れていることが想定されます。



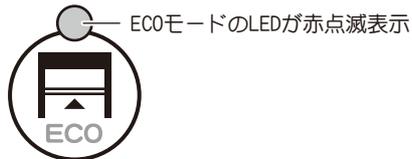
確定  
Enter  
3秒以上  
長押し

### 7セグLEDに入力機器を表示

先頭に C (Check) 表示



(例: 光電管センサー3が検知状態の場合)

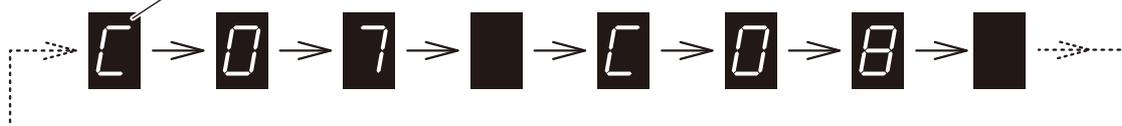


GA別置きコントローラー・50mm角アルミフレーム用は一部写真と配置が異なります。

## 入力機器が複数の場合

先頭に「C」が表示されます

※ 30秒経過すると通常表示に復帰



(例: 光電管センサー3と光電管センサー4が検知状態の場合)

表示番号	入力機器の状態	表示番号	入力機器の状態
C01	1点・ひもスイッチがON	C20	無線スイッチの停止がON
C02	起動センサー1が検知	C21	無線スイッチの閉がON
C05	光電管センサー1が検知	C23	下降信号連続入力中に光電管遮光
C07	光電管センサー3が検知	※ C31	インターロック入力がON
C08	光電管センサー4が検知	※ C32	インターロック解除入力がON
C09	3点スイッチの開がON	※ C33	確認センサー入力がON
C10	3点スイッチの停止がON	※ C34	スマートインターロック入力1がON
C11	3点スイッチの閉がON	※ C35	スマートインターロック入力2がON
C12	インターロック入力がOPEN	C36	高頻度動作抑制機能により停止中
C13	インターロック解除スイッチがON	※C31～C35はオプション基板を設置し、各状態の時に表示します。	
C19	無線スイッチの開がON ※1点式のスイッチON 非接触スイッチ (5V) ON		

# シャッターが動かない場合の確認事項と対処

**!** 門番が動かない場合は、まず最初に電源を確認してください。  
 コントローラー内のブレーカー及び一次側のブレーカーが「ON」になっている事を確認してください。

シャッターの状態	考えられる原因	対処方法	入力チェックモードでの確認
Q1 シャッターが開いたまま閉じない	A1 光電管センサーの光軸が物体を検知している	光電管センサーの光軸を遮る物体がある場合は取り除いてください	光電管の1~4のいずれか、または複数がONになっている
	A2 障害物が無い場合は光電管センサーの光軸ズレが発生している	光電管センサーの光軸調整が必要の場合ご連絡ください	
	A3 起動用センサーの検知エリア内に風により揺れ動く物体などがある	障害物がある場合は取り除いてください	起動センサーの1~3のいずれか、または複数がONになっている
Q2 電源が入っているが全く動かない	A6 3点スイッチの停止が何らかの原因で押しっぱなしになっている	スイッチの状態を確認のうえ修理が必要な場合ご連絡ください	3点スイッチのSTOPがONになっている
Q3 起動用センサーが検知しない	A7 床面と検知する物体の色(反射率)が類似していて検出できない	床面と検知物体の色を変える等反射率を変化させてください	起動センサーの1~3のいずれも表示されない

## その他症状における確認事項と対処

シャッターの状態	考えられる原因	対処方法	ポイント
Q4 シャッターが全開しない	A8 ECOモードが有効になっている	ECOモードスイッチを押して解除してください。	液晶にECO表示があるかECOボタンのLEDが点灯している場合は、ECOモードが有効になっています

## センサーに関するご注意

### 起動センサーについて

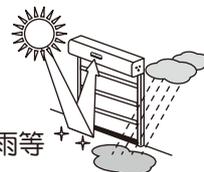
- ① 検知エリアが重なる場合、相互干渉により誤作動する場合があります。
- ② 風で揺れ動く物(植木や紙・ダンボール等)を検知し誤作動する場合があります。
- ③ 蒸気・油煙などにより誤作動する場合があります。検知エリアに掛からないようにしてください。
- ④ 急激な降雨・降雪等により床面が急激に変化した場合誤作動する場合があります。
- ⑤ 床面の反射率が高い場合、太陽光等の影響により誤作動する場合があります。



① 検知エリアの干渉



②③ 蒸気や煙・風で揺れる物



④⑤ 太陽光・急な大雨等

- ・ 強い電波やノイズを発生する機器は誤作動の原因となるため近くに置かないでください。
- ・ 物体の速度や設置環境・床面・対象物(服装・材質・色)により、検出する位置が異なる場合があります。
- ・ 静止物体検知機能は、人体や小型の物体の場合、大型物体に比べ検知し続けられない場合があります。

### 光電管センサー(障害物検知用)について

- ・ 光電管センサーの設置は通過する物体にあわせて設置してください。
- ・ 光軸をまたいだ状態は検知しないため下降中のシートは反転上昇しません。
- ・ 光電管キャンセル位置を設定した場合、設定位置から床までの間は検知せずシートが反転上昇しません。
- ・ 光電管センサーは定期的な点検が必要です。月に一度程度光電管センサーの動作状態を確認し、万一故障の疑いがある場合は、すみやかに取扱店にご連絡ください。